

新潟東部 I G F 参加報告

第1分科会 会長、幹事部会

「会長と指導力」「幹事と運営力」という2つのテーマで行われた。まず、リーダー、サブリーダーによる基調報告に始まり、その後、出席した約50名の各会長、幹事が、前列から順に約2～3分意見発表を行った。内容は、指導力、運営力というテーマから、かけ離れ、各クラブの現状説明が大半であった。その中で、各クラブ共、会員同士が「よく知り合う」よう工夫、努力しているのが感じられた。例えば、じっくりと話し合うための夜例会の開催。小グループ会合を開き、平日頃発言の少ない人にも配慮する等。また分水の相田会長より、第4分区内で卓話者の交換をやらうじゃないかという提案があった。言うまでもなく、RCは加入が任意の団体。またロータリアンは各企業の代表者であり、1国1城の主である。一方的に上からの命令では動いてくださらない。むしろ、目標をある程度示したら、あとはそれぞれの立場、それぞれの個性で自主的に行動することを求めた方がよい。会長はその調整役であり、励まし役である。と私は思っております。

社会奉仕 今井克義

今回、I G Fに出席して1番心に残った話を1つ。それはロータリークラブへ入会して名簿に名前が載っただけではロータリアンではない。毎週の例会への出席を楽しむようになった時にはじめて一人前のロータリアンと言えるだろう、あるリーダーの言葉。私も最初の頃は、例会への出席の為の時間調整の苦痛が強かったが、最近、今日はロータリーの例会日だと、何となく心楽しい気持ちが始めてきた。一人前のロータリアンに片足位近づいたのかな？と思っているこの頃である。

社会奉仕委員会 木宮 隆

社会奉仕は単なる寄付活動ではない。体を使い汗を流してこそ真の社会奉仕である。又社会奉仕は時代のニーズを反映しながら時代と共に変化する必要がある。そして何よりもそれはその町に根を下した運動であるべきである。各ロータリーよりの現況報告を聞くと、社会奉仕活動は(1)清掃活動(クリーンetc...) (2)慰問活動 (3)寄付 (4)大会、祭り等への参加及び援助、等に代表されている。真に体を使い、汗を流す活動報告は、残念ながら聞かれなかった。しかし体を使い、汗を流す活動はメンバーの負担や義務感を助長する場合もあり、その対応が難しいと思った。

職業奉仕部会 吉川吉彦

リーダー(新潟東RC)近弘君の司会進行により部会協議が開始され、職業奉仕について各地区より選出された委員長の体験発表がありました。各委員長の発表内容を一部例記いたしますと。

①新発田RC、渡辺利雄委員長 特別に発表する事例はもたないが、ガバナー月信No.3の職業奉仕月間(10月)の指導にもとづき活動したい。 ②南新潟RC、金井正次委員長 各会員事業所の優良社員の食事会、卓話、4つのテストの置物、業績のよい会社訪問、刑務所の訪問、新入会員の職業感の発表、学生調査、学校訪問を通じて交流等、最近の大手企業の企業倫理(人材確保)上から

社会性ルールの問題等。③佐渡南RC、外内克己委員長 各会員間の職場訪問を行っています。またその地域内で特に優秀と思われる会社の表彰を行っています。現在29名の少人数の会員で精一杯頑張って活動いたしております。④白根RC、笹川豊委員長 1、県内外より進出された大企業が増加しております。これらの会社訪問を行っています。2、卓話テープの貸出し。3、4つのテスト、4つの反省を週報へ掲載等。⑤三条RC、渡辺宏策委員長 ロータリー誕生から理念は良く感じるが、実際何をやっていいかわからない。しかし、よいと思われる行事を（職場例会、三条職案所長の卓話、優良従業員表彰、職業訓練校訪問）積極的に推進したい。⑥見附RC、鈴木晃（成見清委員長代理） 代理出席のため話題が少なくすみませんが、現在までの行事にふれますと、職場訪問、社員表彰等があります。また、市の教職員組合に声をかけ、企業訪問を行ってみましたら大変好評をいただきました。バス5台にて、見附市内の企業見学をすることによって、そこで学ぶ先生と生徒との共通した話題作りと、地域理解に大きく役立ったとされています。最後に1000点の商品を市価の1/3~1/4のバーゲンをやったところ黒山になる先生方を見て驚いて……終了となりました。このあと自由討議にうつり問題点、質問などを協議、及びフォーラムリーダーからのアドバイス、又ガバナーからの指針がありました。（各委員長からの質議内容として）、（リーダー・サブリーダー談）①優良従業員の表彰の基準とは……各会社で自発的に選ぶ。②職業奉仕についての考え方……各自の職業を通して社会的奉仕。③若者の職業指導……個人でなくRC内での行事として行政サービスの一貫として労働基準局の職業指導、④会員同志の職業理解……(1)会長が会員の職場を訪問し発表する。(2)同種職業種の懇談会。⑤職業理念……損得より善意を優先せよ。自分のためだけでなく、会社とその周囲をむくすること。善とは何か～後味のよいこと。悪とは何か～後味のわるいこと。 椋内フォーラムリーダー談 職業奉仕とは早い話は商売繁昌することです。まず自らの職業をよくすることで職業を通して社会に奉仕ができるのであります。それには、互いに商売を理解し、互いになぐさめあい、互いに助けあうことが大切です。

吉野ガバナー談 個人個人の職業奉仕を理解する心がけと、新しい職業奉仕とは何かを考えてほしい。以上簡単にまとめてみましたが、この報告にあたって当北ロータリークラブとして各会員の職業理解を大いに発展させ、会員全員の商売が繁栄することを祈ってご報告いたします。

出席委員会 大野新吉

都市連合会フォーラム（I. G. F）部門別（クラブ奉仕会の出席委員）に出席して、出席に関しましては、当クラブのみならず、他のクラブも1番頭の痛い問題です。なぜなら会員の出席がなければ会の運営、ロータリーの綱領の実践が出来ない事になります。その為に他委員会、特にプログラム委員会と密接な連絡のもとに会員が興味をもつプログラム作りに一生懸命知恵をしばっているわけです。新潟クラブでは50周年記念で今迄1度も100%出席なかったもので、このさい100%出席を目指そうと言う事で全員の協力をもって、7月8日現在まで100%出席をはたしています。又、欠席があると、会長、委員長命令でメイクアップ勧告をして何が何でも達成すべく全員一丸となっています。他地方にくらべて、新潟はクラブが多くあって、メイクアップしやすいこともあって達成